

新型コロナウイルス対策 (令和2年12月14日)

国内における感染拡大の状況を踏まえ、公立置賜総合病院においても感染対策を講じております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

受診者対応…正面玄関付近にて体温測定器による検温を実施。(7:00~16:30) 発熱(37.5度以上)や身体症状がある場合、看護職員がスクリーニングを行い、新型コロナウイルス感染症が疑われる等の場合は診察・検査を行う。救急外来ではコロナ用問診票に記載してもらい対応する。

電話診療…院内感染予防のため、慢性疾患等で定期受診されている方からご希望があった際は、電話で診療し必要に応じて処方箋の発行を行う。

内視鏡…内視鏡検査が必要な患者が感染リスクのない状況を作れない場合、事前にPCR検査を行ったうえで検査する。検査の際は特殊シールドを施し実施する。

新型コロナ自費検査…仕事等で検査・診断書の依頼があった場合、毎週月曜11時の風疹外来枠で対応する(予約センターへ予約が必要)。当院かかりつけ患者から要望があった場合は主治医が対応する。

面会者対応…**面会は全面禁止。**
手術・病状説明、緊急等、医師が認めた場合のみ、少人数かつ短時間の面会に限り許可証を交付する。
洗濯物等の受け渡しは時間を設定して職員での受け渡し対応を行う。

| | |
|---------|-----------------|
| 洗濯物受け渡し | |
| 受渡し時間 | 平日 15:00~19:00 |
| | 土日祝 15:00~18:00 |
| 受渡し場所 | エレベーターホール |

★地域の医療・介護関係者の方々も同様に、医師が必要と認めた場合とさせていただきます。ご協力願います。

オンライン面会…時間を設定し、タブレットを活用した家族面会を開始。

| | |
|--------|----------------|
| 予約 | 医事担当へ3日前まで。 |
| 予約受付時間 | 平日 14:00~17:00 |
| 人数 | 3名程度(家族のみ) |
| 時間 | 下記時間帯の中で10分以内 |
| | 平日 15:00~17:00 |
| | 休日 14:00~16:00 |

院内対策…職員のサーベイランス・健康観察を行う。
会議・研修会は必要性を検討し、感染対策に十分留意の上、開催する。または中止・延期を行う。
会食・宴会は中止、または延期とする。
不要不急の外出・出張等は自粛する。

※感染状況により、対応の変更がなされることをご了解ください。

公立置賜総合病院

〒992-0601

山形県東置賜郡川西町
大字西大塚 2000 番地
病院代表

TEL:0238-46-5000

(医療連携・相談室同上)

医療連携・相談室1

(医療連携部門・退院支援部門)

FAX:0238-46-5721

医療連携・相談室2

(相談支援部門・

精神科支援部門)

FAX:0238-46-5030

予約センター

TEL:0238-46-5700

FAX:0238-46-5722

病院理念

心かよう信頼と安心の病院

置賜広域病院企業団

公立置賜総合病院

www.okitama-hp.or.jp

あしがき

当院では11月に開院20周年を迎えました。これまで支えてくださった地域の皆様へ感謝申し上げます。

感染終息が見通せず不安な状況が続いていますが、職員一同地域の医療の推進に努めてまいります。

今後ともご協力をお願いいたします。

公立置賜総合病院

令和2年12月
第58号

公立置賜総合病院医療連携・相談室 ☎0238-46-5000 内線1902,1911

医療連携だより

最近の外科手術について思うこと

副院長(兼)医療安全部長 小澤 孝一郎

特集:
「最近の外科手術について思うこと」

副院長
(兼)医療安全部長
(兼)手術部長
(兼)外科・消化器外科統括科長
(兼)化学療法センター室長
(兼)滅菌センター室長

小澤 孝一郎
・・・1

医療連携・相談室
業務紹介・・・2~3

新型コロナウイルス
対策・・・4

いつも外科手術患者さんをご紹介いただき誠にありがとうございます。外科は現在、研修医を含め10名で手術外来などの業務を行っております。当院外科は、食道から肛門までの消化管外科、肝胆膵外科、乳腺・甲状腺外科などを行っております。乳腺外科に関しては、乳癌認定医・専門医が当院はおりますので、数多くの紹介を期待しております。

皆様もご承知の通り、外科手術はここ20年で大きな変化が起こっております。通常の開腹手術から、患者さんの負担が少ない低侵襲手術として腹腔鏡下手術、また、ここ数年でロボット手術が多く施設で普及しております。通常の開腹術もまだまだ行われますが、消化管及び肝胆膵外科領域すべてにわたり、腹腔鏡下手術が標準的な治療手技として認められる時代になっております。(ちなみに当院では、約40%が腹腔鏡下手術です。)ロボット手術も消化管領域では主に直腸などで行われています。腹腔鏡下手術では、低侵襲性のみならず、内視鏡の拡大視効果で得られる良好な視野による手術精度の向上で、安全性や根治性も担保されております。



腹腔鏡下手術は通常の開腹術とは異なり、特殊なテクニックも必要です。我々は通常業務のほかにも、手術技量の向上を心がけ、最新の手術手技の習得を図っています。ロボット手術に関しては、設備に巨額な費用が掛かるのですが、今後の動向次第では、導入する可能性もあります。

新型コロナ感染は、留まるどころかさらに悪化しており、医療崩壊も懸念されています。癌診断の遅れが心配されます。事実、4月から6月までの手術件数は、2、3割の減少となりましたが、徐々に持ち直し、10月にはほぼ昨年並みとなりました。我々は癌患者さんの手術を粛々と進めていき、地域の医療に貢献していく所存であります。どうぞよろしくお願いいたします。

医療連携・相談室業務紹介 ～部門別～

入退院支援部門

入退院支援部門は入院支援と退院支援の2つで構成されています。入院支援は看護師4名。退院支援は看護師5名、社会福祉士4名が配属され、患者さん・ご家族への支援を行っています。



入院支援部門は、入院となる患者さんが安心して入院生活を送れるように入院前にお話しを聞き、支援を行っています。事前に患者さんの状態を把握し、入院に対する不安の解消を目指しています。また、病棟看護師とも情報共有を行い、連携を図っています。

退院支援部門は、患者さんと家族が在宅や地域で自分らしく過ごせるように、包括支援センターや担当のケアマネジャーとの情報共有を図り、退院調整を行っています。病棟看護師やリハビリや栄養科など他職種との連携を図り、不安なく在宅生活を送れるように日々活動しております。

精神科支援部門

医療連携・相談室の精神科支援部門は精神保健福祉士・社会福祉士の計3名が担当しています。主な業務としては、精神科病棟の退院支援と精神科通院患者の相談対応です。県内でも数少ない精神科病床がある総合病院として、精神疾患に身体疾患を合併した「身体合併症の治療」が必要な患者から、令和元年度より精神科救急輪番にも参加し、措置入院・応急入院を含めた精神科救急患者まで幅広く受け入れを行っています。精神疾患のある患者さんは同時に精神障害も抱えており、地域での生きづらさを感じている方が少なくありません。私たちは精神障害を抱える患者さんや家族と、退院後の生活や地域での生活について一緒に考える支援をしております。そして生活問題や社会問題の解決のための援助や、社会参加に向けての支援活動を通して、地域の生活、その人らしいライフスタイルの獲得を目標に支援を行っています。地域の関係機関の方々とは今後も連携を図らせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



相談支援部門

相談支援部門は、がん相談・相談窓口（よろず相談）・緩和ケア・母子相談・救急・身元不明など多岐に渡り相談支援を行っています。

その中で相談窓口は、ホスピタルプラザの正面玄関のほぼ正面にあり、医療・福祉・経済的な相談や、受診支援などよろず相談の場ともなっています。

また、がん相談支援センターとしても機能しており、病気への不安や精神的苦痛などの気持ちを傾聴し、その人らしく生きていくための支援や、がん治療に伴う容姿の変化の援助として、ケア帽子やウィッグ、補整下着の説明を行っています。

スタッフ一同、相談者の気持ちに寄り添う支援をこころがけ、日々精進しております。何かありましたら気軽にお声がけ下さい。



医療連携部門

地域医療支援病院として、紹介・逆紹介の推進を行っています。救急の場合を除いて、かかりつけ医などの地域の医療機関からの紹介を受けて診療を行い、症状が軽快・安定した患者さんについては、かかりつけ医や他の医療機関へ逆紹介させていただいています。

かかりつけ医や地域の医療機関のご協力のもと、多くのご紹介をいただいております。よりよい連携のため、今後ともよろしくお願いいたします。

また、置賜地域医療情報ネットワーク（OKI-net）の運営、利用促進等を行っています。OKI-netは置賜地域の患者さんの診療情報（受診歴や投薬検査結果、画像など）を医療機関で共有するシステムで、昨年度からは山形県全域での情報共有が可能となりました。複数の医療機関にかかっている情報共有による切れ目のない治療が可能となりますので、ぜひご活用ください。

当院の紹介・逆紹介件数

| | 紹介件数 | 逆紹介件数 |
|--------|-------|--------|
| 平成27年度 | 9,359 | 9,384 |
| 平成28年度 | 9,019 | 9,370 |
| 平成29年度 | 8,722 | 9,536 |
| 平成30年度 | 9,182 | 9,819 |
| 令和元年度 | 8,871 | 10,069 |

